

2018年6月25日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

小学校英語対策で小学校と大学が連携 児童英語 第一人者の久埜百合 本学学事顧問が模擬授業

中部学院大学（学長 古田 善伯）では、2020年度の小学校英語の本格的実施に向け、岐阜県内の小学校 6校と「小学校英語『授業づくり連携協力校』（※1）」の関係を築いてきました。小学校課程の英語学習が充実する指導方法の取り組みの一つで、本年度から始動しています。

この取り組みでは、本学がもつ人材とノウハウを各連携協力校の小学校の教員と共有しながら、実践的な授業の実現、研究を進めています。今回、児童英語の第一人者として全国各地で活躍する、本学の久埜百合学事顧問が各務原市立尾崎小学校を訪ね、小学校英語の模擬授業を実践します。同時に、小学校教諭などを目指す本学教育学部4年生約10人も授業を見学し、現場で必要な英語授業のスキルやノウハウを学びます。

記

- 日時 2018（平成30）年6月27日（木）午前10時50分～
- 場所 各務原市立尾崎小学校
（岐阜県各務原市尾崎南町3丁目2 TEL 058-389-0122）
- 日程 10:50～11:35 3年生 久埜先生の模擬授業
11:45～12:30 6年生 久埜先生の模擬授業
13:10～14:00 担当者らとの研修会

■ 久埜百合 学事顧問 プロフィール

東京生まれ。東京女子大学卒業後、米ペンシルヴァニア大学へ留学。成城学園初等学校にて英語科講師を長年務める。現在も児童英語教育に深く携わる。本学学事顧問ほか。

【監修】『えいごリアン』『ノッポさんの英語大好き』（NHK 教育テレビ）『スクールバス』（アルク/CS放送） ぽーぐなん出版

【著書】『困ったときのこども英語相談室』『久埜百合が答える101のQ&A』（ピアソン・エデュケーション）『音と絵で覚える子供英語辞典』（三省堂ワークブック）『こんなふうに始めてみては？小学校英語』（三省堂）『こんなときどうする？子ども英語救急箱』（ピアソン・エデュケーション）ほか多数

■ 小学校英語「授業づくり連携協力校」(※1)

2020年度の次期学習指導要領の完全実施に向け、2018年度より小学校課程の英語学習を段階的に実施していくための新教材・学習指導案・視聴覚教材などが文部科学省から配布されましたが、現状は、小学校の教員への研修が不十分であったり、英語に対する不安を払拭できないでいたり、指導方法や指導内容、付けたい力の明確化など、不透明な部分が多々あります。これらは次期学習指導要領が完全実施された後でも継続的に残る課題であると考えられます。

そこで、本学教育学部は、岐阜県内の市町村に小学校英語「授業づくり連携協力校」を呼び掛け、推薦された小学校の教員と、大学がもつ人材とノウハウを共有しながら、現場が抱える課題の解決に向け、指導者の育成、子どもたちの英語の学びの充実などを図ることを進めています。

具体的な内容は以下の通り。

【中部学院大学教育学部が行うこと(例)】

- ・連携校の要請に応じた校内研修への参加、及び、助言
- ・連携校の要請に応じた授業の事前・事後指導、及び、助言
- ・外部講師の派遣
- ・ICTを活用した授業提案 ※ぼ〜ぐなん教材の活用
- ・教職員や子どもの意識調査「できる度 Check」の集計・分析
- ・英検 Jr.学校版の提供 ※実施希望がある場合のみ

【連携校が行うこと(例)】

- ・普段の英語授業への中部学院大学教育学部の学生参観の受け入れ協力
- ・子どもの意識調査「できる度 Check」・「教職員の意識調査」の実施
- ・英検 Jr.学校版の実施 ※実施希望がある場合のみ
- ・中部学院大学の「教育フォーラム」において実践報告

【外国語担当の教員】

中部学院大学 教育学部 久埜 百合 学事顧問、服部 吉彦 教授、
加藤 コラゾン 講師、新井 謙司 准教授 ほか

【現在の協力校】

尾崎小学校(各務原市)、東小学校(高山市)、西小学校(高山市)、
花里小学校(高山市)、本郷小学校(高山市)、白川郷学園(大野郡白川村)計6校

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 教育学部 子ども教育学科 担当：新井

TEL:058-375-3600 (090-4160-0452) E-mail : arai-kenji@chubu-gu.ac.jp